

恩給法案特別委員會會議事速記録第二號

大正十二年三月十二日(月曜日)午後一時三十三分
開會

○副委員長(大島健一君) 是ヨリ始めマス

○子爵樋口誠康君 私が一ツ質問イタシタイノデゴザイマス、ソレハ此恩給法ノ改正ノ前ニ改正ニナツコトカゴザイマス、其時ノ委員會私ガ質疑ヲシテ何トカ方法ヲ決メルト云フコトナリ居リマス、ソレガ今度ノ改正ニ付キマシテ見エナイヤウデゴザイマスカラ、ソレデ一ツ質問ヲ致シタイノデアリマス、恩給モ大正九年度ノ統計表ヲ見マス、云フト今年度ノ恩給ト合シマシテ七千万圓餘リニナツテ居リマス、今度ノ改正ノ要項ニ付キマシテ、之ヲ六年ニ互リマシテゴザイマス、全部ヤルコトニナリマス、殆ド三千万圓デケヤルコトニナリマス、合セマス、一億ト云フ金ニナル、而シテ此恩給ノ年限ニ依テドウ云フ風ニ進シテ來ルカト申シマス、大正元年頃ノ統計ヲ見マス、漸ク年金ト恩給ト合セマシテ三千万圓ニシカナツテ居ラス、マダ十年ニモナラスノ二倍以上ニナツテ居リマス、此間ニハ色々増加スベキ原因ガ度々ゴザイマシテ或ハ半年デナイカモ知レマセヌケレドモ、今後モ矢張り十年以上立チマス、色々増加スル原因ガ殖エテ参リマシテ、矢張り斯ウ云フヤウナ比例ニナツテ來ヤセヌカト思フ

〔委員長公爵近衛文麿君委員長席ニ著ク〕

サウナリマス、二億或ハ二億以上ニナルハ近キ將來ニサウナラウト思フノデス、此根本方針ハ何レ御研究ニナリマシタラウカ、今日現レテハ參リマセウガ、御研究ニナツテ法ヲ御開カセテ願ヒタイノデアリマス、或ハ一ツモ研究ガナイト云フコトデアレバ仕方ガゴザイマセヌケレドモ、恐ラク此目前私ガ此委員會御尋ネシタ時モ何トカシヤウト云フヤウナ御話モ伺ツテデアリマス、此邊ニ付テ御考慮ニナツテ點ヲ一應伺テ置キタイト思ヒマス

○政府委員(馬場鐵一君) 一應政府ノ研究イタシマシタ點ニ付テ御參考ノ爲ニ申上ゲタイト思ヒマス、恩給ガ最近ニ非常ニ増加イタシマシタノハ是ハ色々ノ理由ガアルノデアリマシテ即チ恩給ナルモノガ生活ノ資料トシテ、退職文武官ニ對スル給與トシテハ餘リニ低キニ過グルト云フコト一方法ニハ急激ナ經濟事情ノ變遷ニ依リマシテ、恩給其モノノ増加ト云フコトハ單ニ官吏ノ文武官ノ退職ニ依テ當然増加スルコト云フコト以外ニ今申シタ特別ノ事情ノ爲ニ恩給ノ増加ガ急激ニ生ジタノダラウト思フノデアリマス、即チ

貴族院恩給法案特別委員會會議事速記録第二號

大正十二年三月十二日

物價ノ異常ナル騰貴……是等ガ經濟生活ヲ困難ナラシメタ爲ニ恩給ヲ増加スルコト云フコトノ已ムナキニ至ツタコトデアラウト思フノデアリマス、若シ物價ノ急激ナル騰貴ガナイ、又今日ノ如ク或程度マデ適當ナル率ヲ以テ恩給ヲ定メテ置キマシタラバ、今後ノ増加ト云フモノハ過去ニ於ケルガ如ク増加ヲ來サヌデアラウト云フコトハ略ボ認メ得ルコトデアラウト思ヒマス、唯併ナガラ文武官ナリ、教員ナリハ益々増加スルノデアリマス、將來ノ恩給ハ必ズ矢張り相當ノ速力ヲ以テ増加スルコト思フノデアリマス、之ニ對シマシテハ先ツ第一ニ考フベキコトハ今日ノ恩給年限ニ達スル義務年限即チ文官デ云フ十五年、武官デ云フ十一年、巡査看守ノ十年、

此問題ガ第一ニ考ヘナケレバナラス問題デアラウト思フ、即チ恩給金額ガ極ク少イ場合ニ於テハ、或ハ今日ノ此儘デ然ルベキデアリマス、ケレドモ恩給金額ガ相當ナル率ニ上ル以上ハ、果シテ此十五年ト云フモノガ相當デアルカ、或ハ武官ノ十一年、巡査看守ノ十年ト云フモノハ稍、短キニ過グルモノデハナカラウカ、是ガ先ツ考慮シナケレバナラス問題デアラウト存ジマシテ、其點ニ付テハ實ハ色々研究シタノデアリマス、然ル所ガ今回政府ガ原案トシテ提出イタシマシタルモノハ實ハ恩給ノ率ヲ上シテナイノデアリマス、其爲ニ原案トシテハ今申上ゲタ點ニ付テハ解決ヲ下サズシテ出シマシタ、是ガ衆議院ニ於テ修正ニ相成リマシタ、此修正ニ付キマシテハ必シモ政府ハ……無論院贊成ハ致シテ居ルノデアリマス、ケレドモ、俄ニ衆議院ハ修正ニ相成リマシタノデアリマス、ケレドモ、是ガ何年ニ改メルガ適當デアルカト云フコトニ付テハ解決案ヲ直チニ得マセヌ、其爲ニ單ニ率ヲ改正セラレテ、勤務年限ニハ變更ヲ加ヘナイノデアリマス、ケレドモ、是ハ將來恩給増加ノコトヲ考ヘマシテ、現在其職ニ在ル者ニハ適用ガ無イニ致シマシテモ、新ニ文武官ニ任命セラレルニ付キマシテハ今日ノ恩給年限ヲ適當ニ修正スルコトガ必要デアラウト考ヘテ居リマス、此點ハ成ルベク適當ナ案ヲ得マシテ恩給ノ爲ニ國庫ニ甚シク負擔ヲ加ヘナイヤウナ方法ヲ考ヘネバナラスト考ヘルノデアリマス、更ニモウ一點ハ先般江木君ガ議場ニ於テ御述べニナリマシタ國庫納付金ノ問題デアリマス、此問題ニ付テハ實ハ研究イタシタノデアリマス、先ツ政府ノ原案ニ此問題ヲ上ボサナカッタハ只今申上ゲタ恩給率ヲ増加シナイガ爲メデアリマス、成程遺族扶助料ノ三分ノ一ヲ二分ノ一ニ増加ヲ致シマシタノデアリマス、此遺族扶助料ヲ是ダケ上ボセタ爲ニ特ニ文官ニ付テ今マデ百分ノ一取ツタモノ

ヲ百分ノ二或ハ二半取ルト云フコトハ餘リ現在其職ニ在ル文官ニ對シテ氣ノ毒デハナイカ、何トナレバ一體遺族扶助料ノ爲ニ國庫納付金ヲ取テ居ルノハ相互救済ノ主義デアルト解釋シテ居ラス、恩給遺族扶助料ノ性質ハ相互救済ノ主義ガ適當デアルカ否ヤト云フコトハ餘ホド考ヘモノト思フ、其點カラ政府ノ原案トシテハ之ヲ増加イタサナカッタノデアリマス、併ナガラ議會ニ於テ修正セラレマシタノデアリマス、本來ナラバ或ハ之ヲ増加スルコト云フ議論モ出ル譯デアリマス、私共モソレヲ覺悟シタノデアリマス、ケレドモ國庫納付金ヲ取ルト云フ問題ハ單ニ文官ノミナラス武官ニモ影響ヲ及ボシ、又此率ヲ如何ニ定メルカト云フコトハ此恩給ヲ現ニ受ケツ、アル者ニ重モナル利益ヲ與ヘ現在其職ニ在ル者ハ非常ニ長キ將來ニ於テ初メテ恩給ヲ受ケル場合ニ利益ヲ得ル、其點ノ公平不公平ヲ考ヘナケレバナラス、ソコデ衆議院ノ修正ハ國庫納付金ヲ増加スルコト云フコトヲ出スト云フ程ノ條件ハナカッタノデアリマス、矢張り俄ニ決スベキモノニアラズト信ジマシタガ故ニ、其點ニ付テハ修正ナシニ此處マデ來テ居リマス

○子爵樋口誠康君 唯今ノ御説明ニ依リマス、詰リ是カラ先キ今迄ノヤウナ増加ハナイト云フ御見込ナデスナ

○政府委員(馬場鐵一君) 政府ノ見ル所デハ今後ハ從來ノ如キ率ヲ以テ恩給ハ増加イタサヌデアラウト斯ウ考ヘテ居リマス

○江木翼君 私ハ本案ニ關シマシテ一ニ重要ナ事ダケヲ此處デ御尋ヲ致シテ置キタイト思フノデアリマス、而シテ此點ニ付キマシテハ或ハ政府ノ極マタル御方針ト云フモノ、此案ヲ通過イタサセマスニ付キマシテ得テ置クト云フコトガ必要デアラウトカト思ヒマス、故ニ、定メシ私ノ考ヘテ居リマス、コトニ付キマシテハ委員會ノ御方ニ於ケレマシテモ有ッテ居ラレマス、疑デアラウト思ヒマス、故ニ、其點ヲ今日直チニ御返事ヲ得マセヌデモ宜シウゴザイマス、委員會ノ繼續中ニ何レノ日ニカ政府ノ御趣意ノアル所ヲ承リタイト思ヒマス、其第一點ハ恩給ニ關シマス要求ハ、唯今樋口子爵カラモ述ベラレマシタガ如ク、近年比年起テ居ルコトデアリマス、凡ソ私共ガ知リマシテカラデモ明治四十二年ニ係給ヲ増加イタシマシタ時ニモ起ツタ問題デアリマス、其後モ屢々起ツタ戰爭中以後カラハ殊ニ頻々ト起ツタ、其爲ニ増加ニモナリ、増加モ一度ナラズ二度、軍人恩給ノ如キニ至リマシテハ數回二分レテ増加ニナツテ居ルノ様ナ所以ノモノハ畢竟生活ノ

壓迫トモ云フ一面ニアリマスルガ故ニ、斯ノ如キ所ノ要
望ガ國民一部ノ聲トナテ現レテ居ルト云フコトハ疑ヲ容レ
ナイト思フデアリマス、此點ニ付キマシテハ政府ニ於テモ
多年御心配ニナテ此恩給法案ガ出マシタ時ニ何レ恩給法ニ
付テハ百年ニ亙ル所ノ基礎的ノ案ヲ編成ヲシテ議會ニ提
出スルト云フ保證ニナタデアリマス、確カ原内閣當時横
田法制局長官ヨリ政府ヲ代表シテ此事ヲ聲明セラレタヤウ
ニ思フデアリマス、然ルニ今回政府ノ原案ハソレ程ニ進シ
テ居リマセヌデアリマス、衆議院ノ修正ニ依リテ略ボ
謂ハバ多年ノ懸案ト云フモノヲ解決シ得タカノヤウニ察セラレ
ルデアリマス、尤モ此案ガ通リマシレバ、百年ニ亙ル
先キハ固ヨリ今ヨリ豫期スルコトハ出來マイカト思ハレマ
ス、コ、數十年ノ間ハ先ヅ此案ヲ基礎ニシテ改正ヲヤル必
要ハナイ、斯様ニ考ヘテ宜シキモノデアリカ、此保證ヲ得タイ
モノデアルト思フデアリマス、申シマスルノハデス、隨分今
回ノ案ニ付キマシテモ所謂恩給亡國論ナド、云フモノガア
ルデアリマス、官吏軍人等カラ見マシレバ誠ニ結構ナコト
トコザイマスルガ、一面ニ於キマシテハ國民ニ三千万圓ノ負
擔ト云フモノヲ餘計ニ課スルト云フコトデゴザイマスルカラ
中ニ重大ナル問題ナシデアリマシテ、中、輕々ニ此問題ヲ見
ルコトハ出來ナイト思フデアリマス、今年三千万圓増シテ
置イテ大正十三年度ニナタラ又千万圓増ストカ二千万
圓増ストカ云フヤウナコトガアリマシテ非常ニ増シテ來ル極
口子爵ノ仰セラレマシタル如ク十年カ十五年ノ後ニハ更ニ
恩給額ガ倍額ニナテ一億内外ニナルト云フヤウナコトナ
リマシテハ、一般ガ心配ヲ致スト云フコトハ無理デナイデア
ラウト思ヒマス、ソコデ法律ノ改正トシテハ今回ノ改正ヲ以テ、
衆議院ノ修正ヲ包含ヲ致シマス改正ヲ以テ先ヅ一段落ヲ
告ゲタモノデアリ、此先キ法律ノ改正ヲシテ恩給増加ヲ圖
ト云フ必要ハナイモノデアリ、斯様ニ心得テ宜シイデアリマ
セウカ、先ヅ第一ニ此點ヲ承リマス、第二點ト致シマシテ先
般大島君カラ確カ御質疑ガアタト記憶イタシテ居リマス
ガ、現在ノ十八萬人ニ餘リマス所ノ受恩給者ノ中ニハ其恩
給ヲ高利貸ニ抵當トシテ金ノ融通ヲシテ貰ウテ居ル者ガ仲
々多イ、三割アリマスルカ四割アリマスルカソレハ判リマセ
ス、社會ニハ相當ニアルラシク見エルトデアリマス、假リニ茲
ニ一億内外ノ恩給ニナタト致シマシテ四割ノ借金ヲ借りテ
居ルト致シマスレバ四千万圓ノ恩給金ト云フモノハ高利貸
ノ手ニ這入ル、斯ウ云フコトニナルデアリマス、國家ハ成程受
恩給者ノ生計ニ充テル爲ニ法律ニ從テ出シテ居ルデアリ
マスガ、其實ハ高利貸ノ腹ヲ肥シテ行クト云フ形ニナテ居
ルデアリマス、何トカシテ此高利貸ノ手ニ這入リマスル借
金ハ之ヲ消シテ了フト云フコトハ無論イカニ棒引ニシテ了フ

ト云フコトハ行キマスマイカ、何トカ政府ガ低利ノ資金ヲ供
給セラレマシテ、サウシテ此高利貸ニ苦シデ居リマスル受恩
給者ノ借金ヲ借換セシメラレ、四千万圓ノ低利資金ヲ出
サレマシタナラバ或ハ四千万圓全部高利貸ノ手カラ抜クコ
トガ出來ルカドウカ分リマセヌ、全部抜ク爲ニハ一億圓ノ低
利資金ヲ向ケナケレバナラヌカ知レマセヌガ、或ハ全國のデ
ナイトシテモ最モ高利三割四割ト云フ利ヲ拂テ居ルモノノ
肩ヲ抜イテヤル、サウシテ低利ノ借換ヲサセテヤラウト云フヤ
ウナコトニ付テ何カ御考ヘニナタ點ハナイデアリマセウカ、
兎ニ角社會政策ノ一ツノ大問題デアリカト思フデアリマス、
折角恩給ガ増ス、ソレガ苦モナク高利貸ノ腹ヲ肥スト云
フヤウナ形ニナリマシテハ寔ニ法ヲ定ムル所ノ精神ニ背カ
ト思フデアリマシテ、此法ヲ定ムル一方ニ低利資金ヲ融通
シテ高利ノ借換ヲセシメル、或ハ今迄ニ割デアタノノ八分
ナリ一割ナリニスルト云フコトニナリマスレバ、利子ダケデモ
非常ニ樂ニナル次第デアリマス、ソレヲニ付テ、何カ政策トシ
テ政府ノ御考ニナタ點ハナイデアリマセウカ、此二點ヲ御
巧究ノ上デ、唯今直グ御返辭ヲ承ラウト云フ趣意デハア
リマセヌ、頗ル重大ナル問題デアルト考ヘマスカラ、唯今直グニ
承レバ此上ナイデアリマスガ、政府ガ方針ノデアリマスル所ヲ
承テ、サウシテ此案ノ内容ニ進ミタイト思フデアリマス
○政府委員(馬場鐵一君) 一應御答申上ゲタイト思ヒマ
ス、衆議院ノ修正案ニ依テ政府ハ大體恩給ノ額其他ニ付
テ今後餘リ改正ノ必要ヲ見ナイト考ヘテ居ルヤ否ヤ、是ハ更
ニ改メテ御答申上ゲテモ宜シウゴザイマスカ、略ボ私共ニ
於テ研究ヲ遂ゲ、又内閣ニ於テモ相當議ヲ盡シタ點デアリ
マスカラ、此處デ申上ゲテ差支ナイト思ヒマス、大體恩給ノ
率並ニ恩給金額ニ付テハ今回ノ衆議院ニ於テノ修正ガ實
行スルコトニナリマスレバ、先ヅ現狀ニ於テハ恩給トシテ相
當デアル遺族扶助料トシテ相當デアルト思フデ居ルカラ、之
ヲ改正スルノ必要ハ當分ナイデアラウト政府ハ考ヘテ居ル、
唯先刻樋口子爵ニ對シテ申上ゲタ如クニ恩給ノ年限等ニ
付テ、在職年限等ニ付テハ、今回恩給ノ遺族扶助料ノ増シ
タニ拘ラズ、現狀通りデアルデアリマスガ、是ハ衆議院ニ於
キマシテモ希望モアリ、又唯今御質問ノヤウナ希望モアルノ
デ現在其職ニ在ル者ハ關係ハ無イデアリマスガ、將來ノ問
題トシテ大關係ノアルコトデアリマスカラ、是ハ適當ニ研究
ヲ遂ゲマシテ、或ハ改正ヲ政府カラ提案スルコトガアルカモ知
レマセヌ、ソレハ豫メ御了承ヲ願ヒタイデアリマス、ソレカラ
高利貸ノ手ニ這テ居ル恩給等ニ付テハ、何カ之ヲ考ヘテ居
ルコトガアルカ、是ハバドノ位這入テ居リマスカ、通信省ノ調
ベニ依リマスルト、先ヅ恩給ノ金額ニ付テハ、唯今二割以內
ニ於テアラウト云フ見込デアリマスガ、色々調査ヲシタモノガ

アリマスガ、一割七分乃至二割ノ間デアラウト思ヒマス、ソレ
ハ兎ニ角ト致シマシテ、現在高利貸ノ手ニアルモノヲ如何ニ
スルカト云フコトニ付テ、實ハ三年程前カラ研究ヲシテ居ル
デアリマス、貯金局ニ於テモ研究シ、簡易保險局ニ於テモ
研究シ、大分研究ヲシツ、アルデアリマスガ、未ダ極ク適當
ナ案ト云フモノハ發見シテ居ラナイ、要スルニ郵便貯金ナリ
場合ニ依リマシテハ、簡易保險ノ積立金ノヤウナモノモ融
通シテ、即チ低利ノ之ヲ融通シヤウカト云フコトニナルデア
リマス、或ハ如何ナル金額ハソレ程度マデ貸シテ宜イカ、是
等ノ手續等ニ付テハ十分ナ成案ヲ得マセヌデアリマス、併
シハ尙ホ研究ヲ續ケテ行キマシテ、適當ナ方法ガアレバ實
行シタイト思フデアリマスガ、併シ茲デ申上ゲテ置キタイノ
ハ現在デ申シマスガ、此前恩給増加ニ付テ申シタノデアリ
マスガ、ドウモ恩給ヲ増加シタ其時ニ恩給増加ガ役ニ立タナイ
惡クスルト高利貸ノ手ニ這入ルデアリマス、今度モ其虞ガ
アルガ爲ニデス、先年出シマシタヤウニ恩給増額ノ證書ト引
換デアタ、現在ノ受恩給者ニ之ヲ交付スルヤウナ方法ヲ執
リマシテ、幾ラカデモ高利貸ニ食込マレナイヤウナ手段ヲ此
前ニモ執リマシタ、之ニ付テハ高利貸カラ非常ニ反對運動
ガアリマシタガ、兎ニ角ソレナコトデモヤア、幾カデモ凌ギ
付ケタイ、只コ、ニ御斷リシテ置キタイノハ、然ラバ一般ニ恩
給ヲ擔保トシテ金ヲ貸ス道ヲ開カドウカト云フコトハ、之
モ此前大島サンノ御質問ニ對シテ、豫算總會デ私ハ御答シ
タノデアリマスガ、餘程考ヘモノデアリマス、只現在高利貸ノ
手ニアルモノヲ何等救済スル途ハ無イカト云フナラバ、尙ホ
續ケテ研究ヲ致シタイト云フコトヲ、御答スルニ過ギナイノ
デアリマス
○江木翼君 第一段ニ御尋ヲイタシマシタコトニ付キマシテハ、
此上増額ト云フガ如キ、即チ國家ノ負擔國民ノ負擔ヲ多
クスルト云フガ如キコトニ付キマシテハ一段落デアリ、先ヅ無
イ、斯様ニ政府ノ御趣意ガアルト云フコトヲ承リマシテ安心
ヲイタシタ次第デアリマス、第二段ノ私ノ御尋ヲイタシマシタ
趣意ハ私ハ廣ク恩給ヲ擔保ニ供セラレルヤウニナタラ宜カ
ラウト云フ點ヲ論ズルノデアリマス、現ニ高利貸ニ
リマスルガ故ニ、之ヲ何トカ低利ニ借換ヲサシテヤデ、救済
シテヤラ宜カラウ、斯ウ云フデアリマスカラ、又問題ハ自
ラ範圍ハ限ラレテ居ラウト思ヒマス、而シテ將來スノ如
キ惡イコトガ行ハレナイヤウナ法案ヲコソニ御設ケニナル御
政策ヲ御立テニナルト云フコトヲシテ戴カナケレバ將來ノ途
ヲ塞ゲル、サウイタシマシタナラバ、既往アリマシタモノニ對シ
テ、何カ低利資金ヲ出サナケレバナラヌ、或ハ全部ニ亙ルコト
ガ出來ナケレバセメテ半分デモ宜シイ、大藏省ノ方ニ於テ社

會政策ノ目的ノ爲ニ爲サレト云フカ、或ハ簡易保險ノ積立金ノ中カラ運用セラル、ト云フカ、何レノコトデモ宜シウゴザイマスガ、是ハドウカ委員會ノ繼續中ニ何カ稍、具體的ノモノヲ御立ニナシテ御示シニナランコトヲ今ヨリ御願イタシテ置キマス、ソレカラ是ハ本案ニ直接ノ關係ハ無イカトモ思ヒマスガ、本案ヲ審查シマスル上ニ於テ、殊ニ此國庫納金ノコトナドヲ調ベマスル上ニ於テ、或ハ有益ナ參考ニナルカト思ヒマスルノデ、書付、デ頂戴イタシテモ宜シウゴザイマスルシ、或ハ御調ベニナリマシタ所ノ御話ヲ恩給局長ヨリ承テモ宜シイノデアリマスガ、佛蘭西ニ於テ國庫納金ニ關シテ恩給ノ基金ノ制度ト云フモノヲ立テ居リマスルモノガアラウト思ヒマスル故ニ、之ニ關スル御調ベヲ簡約ニ承テ見タイト思ヒマス

○政府委員(入江貫一君) 佛蘭西ノ恩給制度ニ付キマシテハ、目下佛蘭西デハ在來ノ恩給法ヲ改正スルノ意圖ヲ以チマシテ既ニ草案ヲ作テ居リマス、マダ實施ニハ至リマセヌガ、其草案ニ依リマスル餘ホド遠大ナル計畫ヲ立テ、居ルヤウニ見エマス、此處ニ詳シイ調査ハ持テ參テ居リマセヌガ、大體ヲ申シマスルト、在來佛蘭西ニ於キマシテハ、恩給基金ト致シマシテ作給ノ何分ノ一：即チ軍人ニ於テハ確カ百分ノ五、文官ニ於テハ百分ノ六ト記憶シテ居リマスガ、ソレヲ取テ一ツノ金庫ヲ設置イタシマシテ、其金庫ニ於テ積立テルコトニナリテ居リマス、サウシテ其恩給ナリ扶助ノ額ハ其改正ニ依リマシテ、略、コ、ニ提出イタサレマシタ位ノ額ニ似通テ居ルノデアリマス、場合ニ依リマス、恩給額ハ作給ノ四分三位マデニ達シマスルヤウデアリマスガ、唯最モ異テ居リマスル點ハ、恩給年限ガ長イノデアリマス、タシカ文官ニ於キマシテハ三十年間ト記憶シテ居リマスガ、ソレデ二分ノ一カラ始マリマシテ、確カ七十二分ノ一宛ヲ増加シテ居ルノデアリマス、從テ恩給額ハ日本ノヨリ個人ノ當リハ高ウゴザイマスガ、併シ割合ハ平均イタシマス、日本ノ今度ノ新案ト餘リ違ハナイ結果ニナルヤウニ考ヘラレマス、尙ホ最モ異リマスル點ハ、遺族扶助料ニ於キマシテ遺兒ニ相當ノ教育資金ヲ與ヘルト云フコトデアリマス、是ハ普通ノ寡婦ノ遺族扶助料ハタシカ略、日本ノ今度ノ賜金案ト同ジク二分ノ一デアッタカト存ジマスガヒョト致シマシタラ十分ノ四デアッタカ：：シカリ記憶シマセヌガ十分ノ四カ二分ノ一デアリマスガ、其他ト致シマシテ遺族ノ中ニ遺兒ガアル者ニハ其人數ニ應ジマシテ、幾分ノ遺兒教育料ヲ給スルコトニナル、ソレガ爲メ佛蘭西ノ歲計ハ恩給ニ對シマシテ非常ニ増額サレテアアリマスガ、一方ソレ等ノ基金ト共ニ確カ五十年計畫デアッタト考ヘマスガ、五十年ホド經テマスルト其國庫ノ負擔ガ：：先ホド申落シマシタガソレニ對シテ國庫ガ年

年若干ノ負擔ヲ致シマシテ、其負擔額ガ五十年迄ハ非常ニ増加イタシマスガ、五十年後カラハ段々減テ行クト云フヤウナ計畫ヲ立テ、居ルヤウニ承知イタシテ居リマス、詳シイ調査ハ此處ニ持テ來テ居リマセヌカラ詳細ハ申上ダ兼ネマスガ、何レ調ベタモノモゴザイマスカラ御手許ニ差上ゲタイト考ヘテ居リマス、大要右ノ次第デアリマス

○江木翼君 若シ此恩給ノ國庫納金ヲ増加スルト云フヤウナ問題ガ委員會ニ於テ審查セララル、ト云フコトニナリマスレバ、自カラ多少ノ參考ニナルカト思ヒマスル故ニ、ドウカ御調ベニナリマシタモノヲ書付ドモデ御廻シ願フコトガ出來レバ仕合セカト存ジマス、ソレカラ少シ小サイコトデゴザイマシテ或ハ私ノ見落シデアルカモ知レマセヌガ、チヨット了解シ兼ネタノデゴザイマスガ、此増加恩給ノ負擔疾病等ノ程度ハ從來ノ恩給法ニハ一項症ヨリ六項症マデノモノガ法律ニ明記シテアッタヤウニ私ハ記憶シテ居ルノデゴザイマスガ、今回ハソレハ勅命ニ：：其ノ症項ノ程度：：傷ノ程度ト云フモノヲ勅令ニ御委任ニナタノデハナイカト思ヒマスルガ、サウナリテ居リマスガ、

○政府委員(入江貫一君) 左様デゴザイマス、但シ從來ノ法律ハ其項症ヲ極メテ簡單ニ書イテゴザイマス、例ハ「兩眼ヲ盲シ二肢ヲ亡シタル」トカ、ソレノ次ノ項ニハ前項ニ準スルモノトク言フヤウナ極メテ漠然タルモ法律ニ規定イタシマシテ、詳シイコトハ勅令ニ矢張り規定サレテ居リマシタ、今回ノ新法ニ於キマシテハ漠然タルモノヲ法律ニ規定スルト云フコトヲ避ケマシテ其症項ハ勅令ニ讓ルコトニ致シマシタ次第デゴザイマス

○江木翼君 是ハ少シ意見ニ互ルコトカト思ヒマスルガ、各症項ノ給額即チ一項ヨリ六項ニ至リマスル各階級ノ者ニ與ヘマスル金額ハ法律ノ方ニ決メテアル、第一項、第二項、第六項マデズト列表第二號表第三號表等ニ決メテアルノニモ拘ラズ、此一項症ト云フモノハ一體何デアラウカト云フコトハ法律デハ更ニ分ラヌノデアリマス、如何ニモ法律ノ體ヲ爲シテ居ラヌヤウナ心持ガシタノデアリマスガ、多少：：勅令ニ法律ノ精神ヲ明ニセラルヤウナ途ハ已ムヲ得ヌモノト思ヒマスガ、頭カラ六項症ノ區分ト云フモノガ九ツ切り法律ニナイ、而シテ階級二分ケテ金額ヲ幾ラ給スルト云フ區分ダケハ法律ニアルト云フノハ、何トナク均衡ヲ得ナイヤウニ思ヒマスガ、御趣意ダケハ分リマシタ、ソレカラモウ一ツ稍、大キイコトト思ヒマスル點ハ、從前ノ遺族扶助料ヲ受ケマスル資格ト致シマシテ、退官者ガ退官當時ニ居リマシタ所：：其家族ニアリマシタル所ノ妻等デナケレバ遺族扶助料ヲ受ケル資格ハナカッタノデアリマス、即チ退官後ニ妻ヲ迎ヘタト云フ人ハ、其妻ハ遺族扶助料ヲ受ケル資格ハナカッタノデアリマス、

或ハ養子ヲスルトカ、ソレモ資格ガ無イト云フコトニナリテ居タカト思ヒマスガ、今度ハ之ヲ擴張セラレマシタ、是ハ如何デゴザイマセウ、成ル程多ク場合ニ於テ諒承サルベキモノモアルト思ヒマス、アルト思ヒマスガ、同時ニ斯ウ云フ範圍ガ廣クナルト害ガ起ルコトガアリハシナイダラウカ、詰リ養子ヲシテソレニ權利ヲ附ケタル、或ハ如何ハシイ者ニ權利ガ移ルト云フヤウナコトガ起リハシナイカト思ヒマス、弊害カ一面ニ發生シハシナイカト云フヤウナ疑ガ起ルデゴザイマスガ、其點ニ對シテ御研究ハ無クッタ次第デアリマスガ

○政府委員(入江貫一君) 妻ハ在官中若クハ現役中ニ婚姻シタルモノニ對シテ退官退職カラ死亡當時マデ同一戸籍内ニ在ダモノト云フコトヲ條件トシマシタノヲ今回ハ在官中若クハ現役中ニ結婚シタル者デナクトモ、死亡マデニ正當ノ婚姻ヲシタ妻ナラバ寡婦ト致シマシテ之ニ扶助料ヲ給スルコトニ致シマシタコトハ今御話ノ通りデアリマス、之ニ付テ幾分カ弊害ガアリハシナイカト云フコトハ實ハ當局ニ於キマシテモ考慮シタノデアリマス、又養子ニ付キマシテ現行法ト雖モ在官中ノ養子ニ止マリマセヌデ、死亡當時ノ養子デアレバ宜イノデアリマス、如何ハシイ者ヲ養子ニシハナイカト云フ虞レハ先ヅ無カラウ、現在ニ於テモ餘リ認メマセヌ、將來ニ於テモ無カラウと思フノデアリマス、尤モ養子ノ家督相續者ニ限テ扶助料ヲ給シマス、妻ニ於キマシテハ若シ想像シ得レバ故意ニ扶助料ヲ受ケル者ヲ作ルト云フコトガ想像シ得ラレルノデアリマス、將ニ死ナムトスル死病ニ罹ッタトキ、早ク結婚ノ届ヲシテ置ケト云フコトデ、本當ノ正當ノ妻ニアラザル者ニ給セラル、コトガ無イデモナイノデアリマス、茲ニ於テ死亡以前ニ於テ凡ソ一年前マデニ結婚シタト云フヤウナ條件ヲ附ケヤウカトモ考ヘタノデアリマス、サウ云フ條件ヲ附ケタ立法律モアルヤウデアリマス、併ナガラ若シサウ云フ條件ヲ附ケマスレバ善意ニ面カモ正當ニ結婚シタ者ヲ排斥シナケレバナラヌ結果ヲ生ズルノデアリマス、ソレ等ニ依テ其條件ヲ附ケルト云フコトモ甚ダ如何カト思ハレルノデアリマス、ソレデ正當ナ結婚届ヲ致シテ、民法上正當ナル妻ト認メ得ル者デアレバソレニ扶助料ヲ給スルト云フコトハ強テ不當デアアルマイ、是ガ詐偽ニ依ルモノデアアル、詐偽ニ依テ結婚届ヲ致シテ、サウシテ扶助料ヲ取ツト云フコトニナリマスレバ自ラ外ノ法律上ノ制裁ガアリ得ルト云フコトデ、依テソレ等ノ條件ニ附スルコトナシ、法律上正當ナル妻デアレバ之ニ扶助料ヲ給スルト云フコトニ致シタ次第デアリマス

○澤柳政太郎君 此說明ヲ拜見シテ見マスト政府ハ恩給ノコトニ關シテ根本的ノ改正ヲシヤウトシテ既ニ成案ヲ得ラレタノデハナイカト窺ハレルヤウナ書キ方ガアリマシタガ、唯財政等ノ都合ニ依テ其根本的ノ改正ヲ提出スルトガ出

來ナカタ衆議院ニ於テ修正シタ爲ニ、ソレニ近ゾイタモノヲ得ラレタヤウナ工合デアリマスガ、既ニ政府ハ其修正ニ同意ニナシテ居ルノデアリマスカラ、今日ハソレガ即チ政府ノ意向、修正イタシタモノノ意見デアリマセウガ、政府ガ始メ調査セラレタ其案ト衆議院ガ修正シタモノトノ間ニ稍大ナル相違ガ若シアリマスラハソレヲ御話ヲ願ヒタイ、唯今江木君カラモ御話シノアツタ如ク、之ニ付テハ當分ハ大ナル修正ハナカラウト云御話デアリマスガ、尙ホ念ノ爲ニ其邊ヲ伺フテ置キタイ、但シ成案ヲマダ得ナカタ、サウ云フ考ダケガアツタト云フコトデアリマスレバソレハ問題デハ無ナルノデアリマス、ソレカラハバドウモコ、ニアルコトカ分リマセウガ、恩給ハ擔保ニ供スルコトヲ得ズトシテアリマスガ、然ルニ實際ニ於テハ擔保ニ供シタト同ジヤウナ狀態ニナシテ居ル者ガ二割トカ幾ラトカアルト云フコトデアリマスガ、ソレハ何等カノ方法ニ依テ：斯ノ如キ規程ガ現在モアリマシヨウシ、此改正案ニモアルノデアリマスガ、ソレガ名實共ニ完全ニ行ハレルヤウナ方法ハナイモノデアリマスルカ、ソレ等ニ付テ相當御用意ノアルモノデアリマスガ、其邊ヲ伺ヒタイと思フノデアリマス、ソレカラモウ一ツハ此恩給ニ關スル規定ヲ整理統一セラレタ結果トシテ、二重ニ受ケテ居ルヤウナ者ガ將來ハ無クナル譯デアリマスルカ、ソウ云フヤウナ人ニ付テハ此改正ノ爲ニ免ニ角既得ノ利益ヲ幾分か失フコト云フコトニナル譯デアラウカと思フノデアリマスガ、サウ云フ譯デアリマスルカ、ソレ等ノ利益ハ既得ノ權利ミタヤウナモノデアリマスカラ之ヲ失ハシメルト云フコトハ無イデアリマスカ、其外、在職年限デ通算スル結果トシテ或ハ既ニ有テ居ル利益ヲ失フコト云フヤウナ場合ガアルモノデアリマスガ、チヨット浮シタ所デハ例ヘバ或ハ文官ナドニシテ官國幣社ノ神職ニ從事シテ居ル者ガ恩給ヲ有シテ居リマス、餘リ多クモアリマスカレドモ、神職トシテノ俸給ヲ受ケテ居ルト云フヤウナ者ナドガ通算ノ結果、大體ニ於テソレヲ失フコト云フヤウナコトニナルノデアリカト思フノデアリマス、大體此改正案ハ更ニ恩給ヲ増加シ恩給ヲ得ル資格ノアル者ノ利益ノ爲ニセラレテ居ルヤウデアリマスガ、整理統一スル結果トシテ既ニ得テ居ル利益ヲ失フコト云フコトモ是モ據所ナイコトカト思ヒマスガ、サウ云フ場合ガサウ云フ者ニ付テ有ルノデアリカ、有リトシタラハ其邊ヲ一ツ伺フテ見タイと思フノデアリマス

ス、ソレニ依テ修正案ガ出來タヤウナ譯デアリマスカラ、先ヅ之ヲ以テ満足シタイト云フ考デアリマス、ソレカラ擔保ノ問題ハ現行法モ修正案モ同様デアツテ、現在ニ於テハ事實擔保ニ入ッテ高利貸等ニ苦シメラレテ居ル、此點ハ今回ノ改正案デモ何トモ致シ方ガナイト思フ、此法律關係ガドウナシテ居リマスガ、普通ハ何レ受恩給者カラ恩給受取ノ委任ヲ受ケテ居ル、斯ウ云フ形デ、而シテ恩給證書ナリ其他ノ書類ヲ皆高利貸ガ占有シテ居ル、而デシ色ニナ書類ガナレバ恩給ヲ實際ニ交付ガ出來ナイヤウナコトカラ自然高利貸ガ委任狀ヲ持テ行クノデアラウト思ヒマスガ、是ハ今回ノ改正案デモ致方ガナカラウト思ヒマスガ、是ハ更ニ何カ適當ナ方法ヲ取締ルト云フコトハ政府ニ於テハ餘リ研究ヲ致シマセヌデゴザイマシタ、第三ノ點ハ恩給局長カラ御答ヲ致シマス

○政府委員(入江貫一君) 唯今御質問ノ第三點デゴザイマスガ、本改正ニ依リマシテ既得ノ利益ヲ損失スル場合ガアルカト云フ御質問デゴザイマシタガ、此立法ニ當リマシテハ努メテ既得ノ權利ハ尊重スルコト云フコトニ致シタノデアリマス、從テ先程ノ御尋ネノ例ヘバ通算ニ依テ、在來ニツリ恩給ヲ有テ居ル者ガ本法施行後ニ於テソレヲ統一サレルト云フ場合ハ附則ニ依テ損失ノ生ジナイコトニ致シテ居リマス、丁度御舉ゲノ例デ申上デマス軍人カラ神官ニナリマシタ者等ハ本法施行後ニ於テモ其軍人恩給ハ停止サレナイ關係ニ致シテアルノデアリマス、ソレカラ例ヘバ巡查カラ警部ニナリマシタ者ガ在來恩給ヲ有テ居リマス、其恩給ハ今後本法ガ施行セラレタ後モ、警部ニナリマシテモ恩給ハ停止シナイコトニナリマス、唯色ニナ場合ノ中稍、在來ノ規定ニ比シマスルト低クナル場合ガ、極メテ稀ナ場合ガゴザイマス、ソレハ例ヲ以テ申上デマス今日既ニ巡查ナラ巡查ヲシテ居リマシテ十年以上ヲ經過シテ居リマス、是ガ本法施行前ニ止メテ恩給ヲ受ケマシタナラバ、將來警部ニナリマシテモ、其恩給ハ停止サレナイ關係ニ立ツノデアリマスガ、ソレハ從テ將來十五年經テマシレバ恩給ヲ二ツ受ケル關係ニナリマスガ、ソレヲ止メズシテ引續キ警部ニナツテ、本法施行後ニ至テ十五年ニシテ止メタ時ニハ其前ノ在職ヲ通算シテ警部ノ恩給ヲ一ツシカ得ラレマセウ、警部ノ恩給ハ前ノ巡查ノ恩給ト後ノ警部ノ十五年ノ恩給トヲ加ヘヌモノヨリ少ナイデアラウト思ヒマスガ、サウ云フ例ガアル場合ニ限リテ、現行法ノ規定ヨリハ下ルト云フ關係ガゴザイマス、是ハ併ナガラ現行法ガ極メテ不備デアツタ結果サウ云フ變態ヲ生ズルコトデアリマシテ、此改正ニ依リマシテソレヲ適當ニスルト云フコトニナルノデアラウト思ヒマス、併ナガラ在來ノ不備デアツタ結果ニ依テ在來既ニ二ツノ恩給ヲ受ケテ居リマスモノハ本法改正後ニ至テ之ヲ一ツニ合セルコトニ致サ

ナイ、約言シテ申シマスレバ在來ノ利益ハ殆ド全部ソレヲ認メテ居リマス、其中デ特殊ノ極メテ稀ナ場合ニ限リテ在來ノ現行法ガ其儘將來ニマデ適用セラレタナラバ、受ケ得ベカリシモノガ幾分下ルトコトモ生ジ得ルノデアリマス、ソレハ併ナガラ他ノ恩給ノ場合ニ比較シマシテソレヨリ不利益ナ結果ヲ來スコトハナイ、斯ウ云フ次第デゴザイマス

○子爵樋口誠康君 私ハ恩給權ノ復活ノコトニ付テ御尋シタイと思ヒマス、斯ウ云フ實例ガゴザイマスガ、扶助料ヲ有テ居リマス者ガ或豫備ノ軍人ニ嫁シタ所ガ、其夫ガ死ンダモノデスカラ、現行法ガ施行サレマス時貴フコトニナル、所ガ現行法デナイモノデスカラ：現行法ト云ウテ今度御出シニナツタ法案デナイモノデスカラ、以前ニハ扶助料ヲ有テ居ッタガ、嫁シタガ爲ニ貴ヘナイト云フコトニナル、サウ云フモノハ今度ノ本法ガ施行サレマス時復活ト云フヤウナコトニハ如何デセウ、御研究ニナリマシタカ誠ニ憫レナモノデス

○政府委員(入江貫一君) 佛蘭西アハ寡婦ガ嫁シマス時恩給ヲ中止イタシマシタ、再ビ寡婦ニナツタ時ニハ前ノ扶助料ヲ給スルコトニナツテ居リマス、ドウモ寡婦ニナツテ扶助料ヲ貰テ居ルモノガ再ビ他ヘ嫁シタ、嫁シテサウシテ其者ガ別レタニシロ死ンダニシロ、再ビ寡婦ニナツタガ爲ニ前ノ夫ノ受ケタ恩給ニ對スル扶助料ヲ給スルト云フコトハ我國ノ國情トシテ如何カト思ヒマシテ、立法例ハゴザイマスレドモ採用イタサナカタ次第デゴザイマス

○子爵樋口誠康君 ソレハサウデゴザイマセウガ、今度ノ法ニ依レバ貴フコトニナルデス、二度目ノ夫ノ扶助料ヲ貰フコトニナル、所ガソレモ此法案ガ發布前デスカラ貰ヘナイト云フコトニナル

○政府委員(入江貫一君) 現行法ニ依リマシテ現役ノ時ニ結婚シタ者ノ寡婦デナケレバ扶助料ハ給セヌト云フコトニナツテ居リマス、所謂後妻、軍人ガ豫備若クハ退役ニナツタ後ニ結婚シタ後妻ニハ現行法デハ給スコトガ出來ナイ組織ニナツテ居リマス、改正法ハソレヲ改メマシタ現行法ガ有效ノ間ノ出來事ナラバドウモ致方ガナイカト考ヘマス

○大島健一君 此増加恩給ノ症狀差、一項二項三項トアル、此區分ヲ先程江木君ノ質問ニ對シテ恩給局長ノ御答ニ依ルト、尙ホ少シ明瞭ニナラナイ勅令デ定メラレルト云フ御意思ノヤウニ伺ハレル、是ハ一體陸軍、海軍ノ方ガ多イノデアリマセウガ、其案ニ付テノ御話ガ出來テ居リマスガ如何デゴザイマスガ、自分モ是ハ今少シ明瞭ニ致サレタガ宜シカラウト思ヒマス、一項二項：二項ノ前ニ準スルト云フコトモ不明瞭、三項ハ何トアリマシタカ、一眼ヲ盲ニ若クハ二肢用ヲナザルモノ、是等モ甚ダ曖昧デアル、實際ハ大概二項以上ニ入ッテ居ルト思ヒマス、ト云フコトニナツテ居リマ

スカラ此區分ハ餘程明瞭ニスル必要ガアラウト思ヒマス、ド
ンナ風ニ下ノ程度マデ御話合ガ出來テ居ルカ伺フコトガ出
來レバ大變便利ト思ヒマス

○政府委員(入江貫一君) 御話通り現行法ガ例(ハ)「兩
眼ヲ盲シ若クハ二肢ヲ亡シタルトキ」前項ニ準ズベキ傷病
ヲ受ケ若クハ疾病ニ罹リタルトキ」是デハ全ク分ラナイノデ
アリマス、斯ノ如キ標準ハ實ハ標準ガナインノ何トカシテ標
準トナルベキモノト思ヒマシタガ恩給局トシテハ專門家ガ居
リマセヌノデ、實ハコトデ打明ケテ申シマスガ、陸軍ノ醫務局
ニ賴ンデ拵ヘテ貫ヒカケタノデアリマス、所ガ此澤山ノ傷病
疾病ノ一々是ガ差別スルコトハ到底出來ナイ、又差別シ
タ所ガ甲ト乙ト丙ト云フ風ニ三ツノ症狀ガ出タ時ハドウスル
カト云フヤウナ議論ガ百出イタシマシテ、數十回醫務局デ研
究シマシタ結果、遂ニ餘リ善イ案ヲ得ナカタノデアリマス、
ソレデ更ニ恩給局陸軍當局ト集メテ調査ヲ致シテ居ル次第
デアリマス、是ハドウモ非常ナ澤山ノ病狀ヲ六項ニ掲ゲ盡ス
ト云フコトハ是ハ到底出來マセヌ、ソレ故ニ稍、標準ノモ
ノヲ掲ゲルヨリ外致方ガナイト考ヘマス、而モ其標準ト云フモ
ノハ又中ニ得惜イノデアリマス、併シ普通起リ得ルモ
ノヲ略、代表ノモノヲ選ンデ、一項二項ニ分ケマシテ、ソレ
ニ準ズルモノヲ其項ニ當ル者トシテ査定スルト云フコトニ致
シタナラバ、現行法ヨリハ稍、正確ニナリ得ルダラウト考ヘマ
シテ其方針針唯今進ンデ居リマス

○大島健一君 此恩給ノ側方病狀ノ差等ノ上ニ餘程
考慮ヲ要スル者ガアルト思フノデアリマス、此一項二項ハ由
來介助ヲ要スル、人ノ助ケヲ要スルモノデ、一人デハ生存ハ
出來ヌト云フヤウナ者ヲ主モ、一項乃至二項モソレニ準ジ
テ居ル三項以下ハ三項ハ時ニ介助ヲ要スル、人ノ手ヲ借リ
ナケレバナラヌ、一時保護ヲ要スル、其他ハドウナリコウナリ
ヤ、テ行クト云フ、斯ウ云フヤウナモノニ私共ハ見テ居ツタ、此
恩給ノ支給ノ上ニモソレヲ餘程考慮セヌケレバナラヌト思フ
現ニ癡兵院等ニ兩足ガ無クテ動カレナイ兩方ノ眼ヲ失フ
居ルト云フヤウナ者ガアルガ、如何ニモ悲惨デアル、ソレカラ
今局長ノ言ハレタ如ク、兩足ガ凍傷デ惡イ眼ガ一ツナイト
云フヤウナ者モ居ル、サウ云フ人ノ補助ヲ要スルモノダカラ、
此恩給ヲ決メルニハ餘程考慮シテヤラナケレバナラヌト思
フノデアリマス、是デ見マスト多少斯ウ増シテハアリマスガ、
殆下計數ノ上ニテ來テ居ル、ソレデ三項ハ宜イデゴザイマセ
ウガ、一二項ハ少シ特別ニ見テヤラナケレバナラヌコトハナイ
カ、私ハ此恩給ノ改正ニ付テ國家ノ負擔ノ重イト云コトカ
フ過日來苦慮シテ居リマスガ、普通恩給ニハ其苦慮ガアリ
マスガ、此增加恩給ノ方ニハ出來ルダケ相當ニシテヤリタイ、
ソレ故ニ此一項二項ニハ今少シ増シテヤラヌケレバナラヌカ

ト考ヘテ居リマス、ソレニ付テモ症狀ノ差等ヲ餘程明カニシ
テ置カスト、必ズ人ノ補助ヲ要スル者ハ二人ノ生活ハ少ナク
トモ出來ネバナラヌト云フコトヲ見テ行キマスト今回ノ増加
ハ今少シヤリタイ、又一二項ノ他ト非常ニ異ナル慘憺タ
ル狀況モ見テヤラナケレバイカス、斯ウ考ヘルノデアリマス、ソ
レ等ハ向ホ追々御意見モ伺ヒ意見モ述ベマスガ、免ニ角症
狀差等ヲ定メルト云フ勅令ノ案ニハ其考慮ガ欲シヤウニ
思ヒマス、是ダケハ餘程區分ガ出來ルノデアリマス、人ヲ是
非始終一人要スルト云フノトドウナリ生活ガ出來ルト云
フノト多分今御話ノ者ガサウ云フ意味ニナルデアラウト考
思ヒマスガ、如何デスカ

○政府委員(入江貫一君) 此機會ニ増加恩給ノ配分方
法ヲ極ク簡單ニ御參考ノ爲ニ申上ゲタイト思ヒマス、六項
傷ト申シマスノハ、先ヅ之ハ幾ラニシタガ宜カラウカ、適切デ
アラウト云フコトハ頗ル難問題デアラウト思ヒマスガ、恩給
局デ此案ヲ立テマシタノハ先ヅ之ハ現在ノ狀況ニ於キマシ
テ、何人前ノ仕事ヲシ何人前ノ給料ト云フヤウナコトカラ考
慮シタノデアリマス、其他ニ現今行ハレテ居リマス各廳ノ雇
員ノ平均給料ト云フヤウナモノヲ考ヘマシテ置イタノデアリ
マス、從テ第三項傷ノ如キハ殆ド一人前ノ仕事ガ出來ナイ
カラ殆ド其約倍額、第一項ニ至リマシテハソレノ向ホ看護
手ヲ要スル、例ヘバ妻ガアリマスレバ、内職片手出ニ看護
スルト云フ考ヲ以テマシテ、第一項傷ハ第六項傷ノ三倍ニ
致シタノデアリマス、之ヲ五倍ニスベキヤ、或ハマル(一)人
トシタモノヲ之ニ算入スキカト云フコトハ色々御説モゴザイ
マセウト思ヒマスガ、恩給局デ考ヘマシタノハ、大體サウ云フ
趣旨ニ出デタルデアリマス、サウシテ三項四項アタリノ計數ハ
病症ガ高マルニ從テ其差等ヲ大ナラシムルト云フ計數ヲ立
テマシテ、六項ヲ百ト致シマシテ一項ヲ三倍、即チ三百ト致
シマシテ、其間ヲ必シモ算術的ノ計數ニ依リマセヌデ、第五
項ハ六項ノ百ニ對シテ百二十五、第四項ハ百六十第三項
ガ二百、第二項ガ二百五十、第一項ガ三百、斯ウ云フ風ナ
計數ニ取ツタノデアリマス、趣旨ハ第六項ガ先ヅ半人分ト見
マスルカ或ハ一人ガ衣食住ノ中ニ先ヅ不自由ナク食ダケノ
收入ガ受ケラレルト斯ウ見マスルカ、其邊ノ程度ヲ取リマシ
テ、第三項ガ其倍額即チ一人分若クハ衣食住ニ足リナイナ
ガラ衣食住ノ費用ヲ給セラレ、斯ウ云フ考デアリマス、第
一項ハソレニ對シテ看護手ニシ得ルト云フ程度ヲ
取ツタノデアリマス、ソレノ上ノ特別項ニ至リマス、内職片
手ニ看護スルコトハ出來ナイカラ是ハユル(一)カ、尙ホ必
要デアル所ノ小遣ト申スカ、ソレヲ樂シマセル費用ト申スカ、
ソレ等ニコレカラ少シバカリヲ増加シタト云フ、斯ウ云フヤウ
ナ關係ニナテ居リマス、費用ヲ全部多數ニ及ボシタ次第

デゴザイマス之ハ近來成程一項症ハ六項症ノ少クトモ五
倍ニナサルト云フ議論ガ立チマスガ、澤山ノ中ニアルノデゴ
ザイマスガ、ソレニハ誠ニ悲惨ナ狀態デアリマスガ故ニ之ニ慰
安ト云フコトモ含メナケレバナラヌ、誠ニ尤モナ議論トハ思
ヒマスルガ、併ナガラ先ヅ之デ氣ノ毒ナ癡兵ガ生活ヲ保護セ
ラレルト云フ程度デ、増加恩給ノ方ニ止メテ置キマシテ、次
ニ最モ悲惨極メル所ノ遺族扶助料及ビ恩給ト云フ風ニ
段々及ボシテ行クノガ、至當デアラウト云フ考デ、此程度ニ
止メタ次第デゴザイマス、尙ホ世ノ中ニハ癡兵ハ日露戰爭
以來今日迄隨分數ガ減少シタ故ニ、此癡兵ノ數ハ減少イ
方デアル故ニ、是ハ少シク殖ヤシテヤマセモ大シク少ナ
ト云フ議論モ盛ニ云ハレテ居リマスガ、癡兵ノ減少率ハ
世ノ中デ云ハレル程多額ハナイノデアリマス、實際ノ調査ニ
依リマス、トハ五六年来ハ減少スルモノト見マシテモマダ
併シソレガ又減少スルモノト致シマシテモ現在ノ癡兵ガ減
少スルガ故ニ、此増加恩給ハ幾ラ出シテモ宜シイト云フコ
トハ恩給當局トシテハ言ヒ得ナイノデアリマス、或ハ明日ニ
モ戰ガナイト限リマセヌ、日露戰爭ノ死傷十萬ト稱サレマシ
タ、其時ニ増加恩給ヲ受ケタ者ハ約二萬ゴザイマス、英吉利
ノ如キハ死傷百八十萬ト稱サレテ居リマス、若シ一朝戰ガ
ゴザイマシタナラバ日本軍ノ死傷ハ日露戰爭當時ノ死傷デ
ハ中ニ止マラナイト云フコトハ豫メ考ヘテ置カナケレバナラ
ヌサウ云フコトハナイデゴザイマセウカ、若シ英吉利ノ如ク
亞米利加ノ如ク戰ヲ想像イタシマシタナラバ、此案ニ從
テモ數億ノ増加恩給ヲ支出シナケレバナラナイ關係ニ立ツ
デゴザイマス、將來ノコトヲアマリ杞憂ノヤウデハゴザイマス
レドモ、多少其點モ考慮イタシマシテ、先ヅ今日ハ生活ヲ保
證シ得ル程度ニ止メテ置キタイト思フ、此案ヲ立テマシタ次
第デゴザイマス、御參考ノ爲ニ申シテ置キマス

○阪本鈺之助君 只今丁度増加恩給ノ御應答ガゴザイ
マスカラ、此際チヨット伺テ見タイノデアリマスガ、只今ノ御
説明ノ如キコトヲ伺テ見タイト存ジマシタガ、御説明ニ依
リマシテ幾分了解イタシマシタノデアリマスガ、尙ホ、斯ウ云
フコトヲ唱ヘル向ガ段々アルノデアリマス、此度此増加恩
給ノ額ヲ御改正ニナテ佐官以下ハ餘程増シタノデアル、所
ガ尙ホ段々下ニ下テ來タ所ノ下士兵卒ハ比較的ニ歩合ヲ
増シテアルト云フコトモ、是ハ衆議院ノ修正デアリマセウガ、
意ヲ用ヒタ修正デアルト存ジマシテ私モ同意スル所デアリマ
スガ既ニ此上級ニアル人ハ普通ノ恩給ノ上ニ於テ相當ノ額
ヲ受ケテ居ルノデアル、而シテ家計ノ狀態カラ見マシテモ上
級ノ人デアレバ無論貯蓄ナドハゴザイマススケレドモ既ニ一
身ヲ軍職ニ捧ゲテ終身之ニ終リ若シ有事ノ日ニハ負傷其他

ノコトガアレバ瘵物ニモナルト云フコトヲ覺悟イタシテ居ルノデアル、兵卒ノ如キニ至テハ餘リ豫期セザル事柄デアラ、而シテ場合ニ依テハ其者ガ兩親ヲ養フ居ルモノデアラ、兵役ガ滿チテ歸レバ之ニ依テ父母ガ生活ヲシヤウト云フモノ、父母ガ却テ介抱シテヤラナケレバナラヌト云フ窮境ニ立ツモノ、往々アルノデアリマス、故ニ下士兵卒ト云フヤウナモノハモト餘計ニシナケレバナラヌデアリカ、同ジ人ノ一ツノ生命ト云フモノヲ標準トシテ論ズレバ、上將官デアラウガ下兵卒デアラウガ其ノ生涯ト云フモノノ生命如何ト云フコトニ輕重ノアルモノデアリ、併ナガラ是ハ身分ニ依リ無論相違ハアルノデアルガ身分ノ相違ト云フモノハ恩給金額ニ於テ之ヲ補ハレテ居ルモノデアラカラ増加恩給ト云フ性質カラ願ミルト、マダ一是デハ足りナイ、斯ウ云フコトヲ唱ヘテ頻ニ情ナカテ居ル向モアルノデアリマスガ、無論御考慮ニナリ、尙ホ衆議院ハ之ニ修正ヲ加ヘテ居ルノデアリマスガ、其邊ニ付テ議論ト申シマスガ、根據ト申シマスルカ、當局ニ於キソレハ非常ニ議論ガアル、斯ク一マデ増加シテアルノデカラ最早左様ナコトハ論ズル餘地ガナイノデアルト云フノデアリマスガ、或ハ同感デアアルケレドモ、斯ウ云フ理由ノ下ニソレハサウハ行カナイ、斯ウ云フノデアルカ、其邊ニ付テ一應御説明ヲ承リ尙ホ考慮イタシタイト考ヘマス

○政府委員(入江貫一君) 増加恩給ヲ給シマスコトニ付キマシテ、在來ノ額ガ餘リ少キニ過ギタト云フコトハ誰モ認メル所デアリマス、之ヲドノ程度マデニ増加スベキカト云フコトニ付テ見マスルト、議論ガ色々アラウカト存ジマス、ソレデ此修正案デ申シマスルガ、コナラニ提出イタサレマシタ案ノ額ハ、先ツ先程申上ゲマシタ通り、本人ノ生命ヲ持續スルニ足ル程度、少クトモ此所マデニハ持テ來ナケレバナラヌト云フ考デ、此表ヲ御覽下サイマスト御解リデゴザイマスガ、昨年春マデ月額二圓、即チ年額二十四圓デアラ、今度其十倍二百四十圓ニナッタデアリマス、此位ノ程度ニ上ゲマシレバ其普通恩給ト共ニ、其生活ヲ保護シ得ルデアラウ、先ヅ今日ノ日本ノ狀況ニ於キマシテハ、此位ヲ満足スベキデアラウト云フ考デ、此額ニ標準ヲ置イタノデアリマス、是ハ其榮譽ノ表彰トカ、或ハ國家ノ爲ニ斯ウ云フコトニナツタノデアラカラ、尙ホ一層慰安ヲ與ヘナケレバナラヌト云フ議論ヲ致シマスレバ、此上マダ一増額ヲシナケレバナラヌト云フ思フノデアリマス、而シテ今ノヤウニ最下級ニ於キマシテ、十倍即チ百割ヲ増加イタシマシタ症項ヲ高メルニ從テ、其額ヲ増シマシタコトハ先程申上ゲマシタヤウナ次第デ申シテ、アルデアリマスガ、サテ其ノ上ノ方ノモノハドウシタカト申シマス、實ハ其症項ヲ増サナケレバナラヌト云フ、其率ヲ其儘ニシテ置キマシテ、額ヲ其率ニ依テ定メマシタノデアリマスガ、

併ナガラ此額ハ現行ノ額ヲ下ラナイ程度ニ止メテ置イタノデアリマス、現行ノ額ハ上大将カラ下海軍五等卒ニ至ルマデ十八階級ニ分レテ居リマシテ、公務ノ爲ニ傷ヲ受ケ病ニナツ者ノ一人ニ對スル價值ト申シマスガ、價ト申シマス、ソレガ變ラナイト云フ議論モ寔ニ尤モナコトデ、之ヲ十八階級ニ分テ、増加恩給マデ各、區別スルト云フコトハ些カ其點カラ考ヘテモドウカト思ヒマシテ、十八階級ヲ六階級ニ縮メタノデアリマス、御承知ノ通り亞米利加ノ如キハ、階級ナシニ傷病ノ程度デ給シテ居リマス、併ナガラ全然之ニ付テ階級ヲ無視スルト云フコトモ妥當デナイト考ヘマシテ、將官、佐官、尉官、下士卒ト分テマシタ上ニ此中間ニ存スル准士官ヲ置イタ次第デアリマス、サウシテ増加ノ割合ハ其階級ノ下ニ行クニ從テ多ク割合ヲシタノデアリマス、上大将中將ノ所デハ先程申上ゲタ比率ヲ保チツ、而モ現行ノ額カラ下ラナイト云フ程度ニ止メテ、具體的ニ申上ゲマスト大將ノ三項四項ノ當リハ現行法ヲ御覽下サイマスト御分リデゴザイマセウガ、改正案ガ三項ノ所デ千六百圓デゴザイマス、是ハ現額ガ千五百四十九圓デゴザイマス、ソレカラ下ノ所ガ現額ガ千二百四十三圓デアリマシタノヲ千二百八十圓ニ止メテ居リマス、下ノ所ニ至リマシテモ尙ホ似タヤウナモノデアリマス、是ハ三項ノ所デ金額ガ千七百七十二圓ノヲ改正案ガ僅カ千二百三十圓足ラズノ増加ニ止メテ置イタノデアリマス、左様ナ次第上將官デハ殆ド現額ヲ下ラナイ程度デ、佐官ニ於キマシテモ大佐ニ於テハ下ラナイ程度、斯ウ云フ風ニ致シマシタ、尉官ノ點ガマダ一是ヨリモモト差等ガ付イテ居タノデアリマスガ、之ヲ相當ニ昇セマシタ、其相當ト申シマスノハ下士卒ノ増加ノ割合ヨリモ大キナ割合ヲ以テ増加シナイ程度、即チ下士卒ガ増加スル程度以內ニ於テ出來得ル限りノ増加ヲ致シタノデアリマス、下士卒ノ程度ヲ超エテ尉官ヲ増加セシムルト云フコトハ妥當デナイト考ヘマシタノデ、尉官ノ所ヲ此程度ニ止メタ次第デアリマス、サウ云フ風ニ致シマシテ今日最モ下級者ニ於テ生活ノ保障出來ル、國トカ名譽ノ表彰トカ云フ分子ハ入レルガ良イカモ知レマセウガ、今日ノ増加恩給ノ狀況ニ於テソレヲ入レルト云フコトハ許サナイデアリカト考ヘルノデアリマス、又ソレ等ノ榮譽ノ表彰トカ、生活ニ慰安ヲ與ヘルトカ云フコトハ他ノ方法デソレハ講ズベキデアル、恩給ノ制度デ講ズベキモノデナイト信ジマシタノデ此程度ニ止メタノデアリマス、元々此程度以上ニ上ゲルト云フコトハ財政ニ影響ガ甚シイ、又將來ノコトヲ考ヘレバ十分ニ上ゲルト云フコトハ如何ト考ヘマシタノデ、此程度ニ止メテ置イタ次第デアリマス

○阪本鈺之助君 拜承致シマシタ

○子爵青木信光君 マダ御質疑ハ澤山ゴザイマセウト存ジマスガ、却テ此案ハ随分複雑シテ居リマスカラ、彼是時日ヲ要シヤウカト思ヒマスカラ、寧ロ小委員ヲ選定シテ、此委員ノ中ヨリソレ等ニ御精通ノ御方ニ御苦勞ヲ願フテ、十分慎重ニ御審議ヲ願ヒマシテ、本委員會ヘ御報告ヲ願フタ方ガヨリ能ク便利カト存ジマシテ、小委員ノ數ヲ八名トシテ委員長ノ御選舉ニ御委セテ致シ、正副委員長ハ尙ホ小委員ニ御參加ヲ願ヒマシテ十分ニ審議ヲ願ヒタイ、斯ウ云フ動議ヲ提出致シマス、ドウカ御賛成ヲ願ヒタイ

〔贊成〕下呼フ者アリ

○子爵青木信光君 間違ヒマシタ六名...

○副委員長(大島健一君) ソレデハ委員長ニ代リマシテ小委員ノ指名ヲ申上ゲマス副島伯爵、阪本男爵、郷男爵、江木翼君、阪本鈺之助君、南弘君、コレダケニ御願ヒマス、是カラ引續イテマダ時間ガアリマスカラ小委員會ノ會合ヲ願ヒマス

○委員長(公爵近衛文麿君) ソレデハ散會致シマス

出席者左ノ如シ

委員長 公爵近衛 文麿君
副委員長 大島 健一君
委員 伯爵副島 道正君
子爵樋口 誠康君
子爵青木 信光君
男爵坂本 俊篤君
男爵神野 誠之助君
男爵澤柳 政太郎君
男爵阪本 鈺之助君
男爵福永 吉之助君
男爵南 弘君
男爵江木 翼君
男爵伊丹 彌太郎君

政府委員

内閣恩給局長 入江 貫一君
法制局長官 馬場 鑣一君